

### Ⅲ 結果の概要

#### 1 人口の動向

##### (1) 総人口

第17回国勢調査による平成12年10月1日現在の茨城県の総人口は2,985,676人（全国第11位）となったが、これは前回（平成7年）と比べると、数で30,146人、率で1.0%の増加である。第1回国勢調査（大正9年）時には1,350,400人であったことから、80年間で約2.2倍になったことになる（第1表、表-1）。

表-1 各回国勢調査による人口と世帯数の推移 -茨城県・全国-

年次	人口		増加数		増加率 (%)		人口指数 (大正9年=100)	
	茨城県	全国	茨城県	全国	茨城県	全国	茨城県	全国
大正9年	1,350,400	55,963,053	...	...	...	...	100	100
14	1,409,092	59,736,822	58,692	3,773,769	4.3	6.7	104	107
昭和5年	1,487,097	64,450,005	78,005	4,713,183	5.5	7.9	110	115
10	1,548,991	69,254,148	61,894	4,804,143	4.2	7.5	115	124
15	1,620,000	73,114,308	71,009	3,860,160	4.6	5.6	120	131
22	2,013,735	78,101,473	393,735	4,987,165	24.3	6.8	149	140
25	2,039,418	84,114,574	25,683	6,013,101	1.3	7.7	151	150
30	2,064,037	90,076,594	24,619	5,962,020	1.2	7.1	153	161
35	2,047,024	94,301,623	△ 17,013	4,225,029	△ 0.8	4.7	152	169
40	2,056,154	99,209,137	9,130	4,907,514	0.4	5.2	152	177
45	2,143,551	104,665,171	87,397	5,456,034	4.3	5.5	159	187
50	2,342,198	111,939,643	198,647	7,274,472	9.3	7.0	173	200
55	2,558,007	117,060,396	215,809	5,120,753	9.2	4.6	189	209
60	2,725,005	121,048,923	166,998	3,988,527	6.5	3.4	202	216
平成2	2,845,382	123,611,167	120,377	2,562,244	4.4	2.1	211	221
7	2,955,530	125,570,246	110,148	1,959,079	3.9	1.6	219	224
12	2,985,676	126,925,843	30,146	1,355,597	1.0	1.1	221	227

人口の推移を増加率からみると、昭和22～40年の横ばい状態から、昭和40年からは上昇に転じ、昭和45～55年の10年間は10%近い増加率を示してきたが、昭和55～60年からは鈍化し始め、今回（平成7～12年）はさらに鈍化し、前回（平成2～7年）より2.9ポイント低下し1.0%となった。これは全国第13位の増加率である。全国平均の平均増加率は1.1%であり、本県の増加率は全国平均に比べ0.1ポイントとなっている。なお、人口増加数（30,146人）も前回（平成2～7年）より、80,002人少なくなっている（第1・2表、図-1）。

表-2 人口増加率の高い都道府県

順位	都道府県名	増加率 (%)	
		平成7年～ 平成12年	平成2年～ 平成7年
1	滋賀県	4.3	5.3
2	沖縄県	3.5	4.2
3	神奈川県	3.0	3.3
4	兵庫県	2.8	△ 0.1
5	埼玉県	2.6	5.5
6	愛知県	2.5	2.7
7	東京都	2.5	△ 0.7
8	千葉県	2.2	4.4
9	福岡県	1.7	2.5
10	宮城県	1.6	3.6
11	群馬県	1.1	1.9
12	栃木県	1.0	2.5
13	茨城県	1.0	3.9

人口の多い都道府県の推移をみると、大正9年～昭和40年までは東京都、大阪府、北海道等が上位1～3位を占めていたが、昭和30年頃から顕著になった大都市部への人口集中は、その後、大都市周辺へも及び、このため東京・大阪を中心とする周辺県が上位を占めるようになった。

今回の特徴としては、東京都及び兵庫県が前回の減少から増加に転じたことであるが、東京都については、いわゆる都心回帰によるものであると考えられる。また、兵庫県については、平成7年に発生した阪神・淡路大震災のため、一時県外に転出していた避難者が、その後の復興により再転入したことが要因であると考えられる。

茨城県の順位は、大正9年には第13位と埼玉県、千葉県及び神奈川県より上位にあったが、その後第12～15位を推移。前回（平成7年）同様、今回も増加率1.0%と伸び悩み第11位に位置している（表-3）。

また、1 km<sup>2</sup>当たりの人口密度は、前回の485.0人より4.8人高くなって489.8人となっているが、前回ほどの伸び（18.0人）はみられなかった（第1表）。

図-1 人口及び人口増加率の推移  
(大正9年～平成12年) -茨城県-

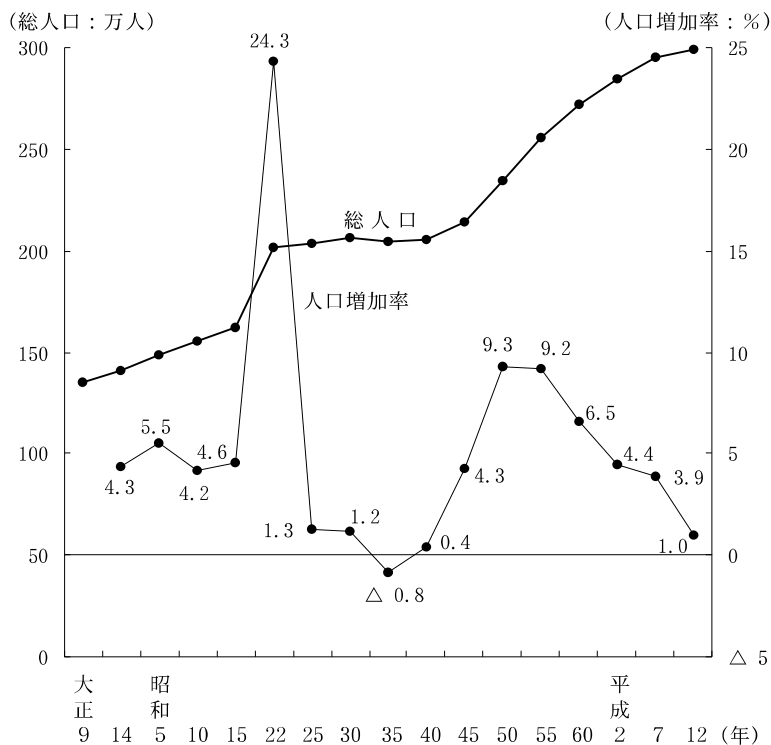


表-3 都道府県別人口順位の推移（上位15都道府県）

順位	大正9年		昭和10年		昭和25年		昭和40年		昭和55年		平成12年	
	都道府県	人口	都道府県	人口	都道府県	人口	都道府県	人口	都道府県	人口	都道府県	人口
1	東京都	3,699,428	東京都	6,369,919	東京都	6,277,500	東京都	10,869,244	東京都	11,618,281	東京都	12,064,101
2	大阪府	2,587,847	大阪府	4,297,174	北海道	4,295,567	大阪府	6,657,189	大阪府	8,473,446	大阪府	8,805,081
3	北海道	2,359,183	北海道	3,068,282	大阪府	3,857,047	北海道	5,171,800	神奈川県	6,924,348	神奈川県	8,489,974
4	兵庫県	2,301,799	兵庫県	2,923,249	福岡県	3,530,169	愛知県	4,798,653	愛知県	6,221,638	愛知県	7,043,300
5	福岡県	2,188,249	愛知県	2,862,701	愛知県	3,390,585	神奈川県	4,430,743	北海道	5,575,989	埼玉県	6,938,006
6	愛知県	2,089,762	福岡県	2,755,804	兵庫県	3,309,935	兵庫県	4,309,944	埼玉県	5,420,480	千葉県	5,926,285
7	新潟県	1,776,474	新潟県	1,995,777	神奈川県	2,487,665	福岡県	3,964,611	兵庫県	5,144,892	北海道	5,683,062
8	長野県	1,562,722	静岡県	1,939,860	静岡県	2,471,472	埼玉県	3,014,983	千葉県	4,735,424	兵庫県	5,550,574
9	静岡県	1,550,387	神奈川県	1,840,005	新潟県	2,460,997	静岡県	2,912,521	福岡県	4,553,461	福岡県	5,015,699
10	広島県	1,541,905	広島県	1,804,916	埼玉県	2,146,445	千葉県	2,701,770	静岡県	3,446,804	静岡県	3,767,393
11	鹿児島県	1,415,582	長野県	1,714,000	千葉県	2,139,037	新潟県	2,398,931	広島県	2,739,161	茨城県	<b>2,985,676</b>
12	福島県	1,362,750	京都府	1,702,508	広島県	2,081,967	広島県	2,281,146	茨城県	<b>2,558,007</b>	広島県	2,878,915
13	茨城県	<b>1,350,400</b>	鹿児島県	1,591,466	福島県	2,062,394	京都府	2,102,808	京都府	2,527,330	京都府	2,644,391
14	千葉県	1,336,155	福島県	1,581,563	長野県	2,060,831	茨城県	<b>2,056,154</b>	新潟県	2,451,357	新潟県	2,475,733
15	神奈川県	1,323,390	茨城県	<b>1,548,991</b>	茨城県	<b>2,039,418</b>	福島県	1,983,754	長野県	2,083,934	宮城県	2,365,320

## (2) 人口集中地区人口

人口集中地区は昭和35年から設定されたが、その全域人口に占める割合は、人口の都市化を示す指標の一つといわれている。茨城県の人口集中地区人口は、毎回増加しており、今回は32,533人増加して1,067,726人に達し、昭和35年時と比べると約2.7倍になった。全域人口に占める割合も増加を続け、今回35.8%となり、これは前回と比較すると0.8ポイントの微増となった。

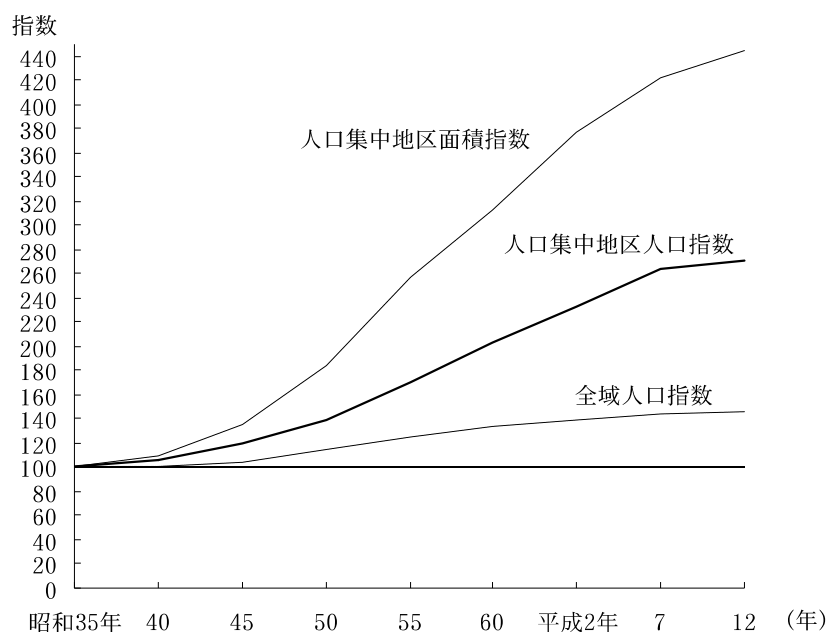
一方、人口集中地区の面積は、前回より12.0km<sup>2</sup>増加して231.5km<sup>2</sup>と、昭和35年時と比べると約4.5倍の広さになり、人口に比べてその伸びは高い。全域に占める割合も前回より0.2ポイント上昇して3.8%となっている。

この結果、人口集中地区の人口密度は、前回より106.4人低くなって4,612.8人と、昭和35年時の61%になったが、それでも全域の約10倍近い高さを示している（表-4、図-2）。

表-4 人口集中地区人口の推移（昭和40年～平成12年） -茨城県-

年次	人 口			面積 (km <sup>2</sup> )			人口密度 (人/km <sup>2</sup> )	
	全 域	人口集中地区	全域に占める割合 (%)	全 域	人口集中地区	全域に占める割合 (%)	全 域	人口集中地区
昭和35年	2,047,024	392,994	19.2	6,087.92	52.0	0.85	336.2	7,557.6
40	2,056,154	419,147	20.4	6,088.01	56.5	0.93	337.7	7,418.5
45	2,143,551	468,787	21.9	6,087.20	70.1	1.15	352.1	6,687.4
50	2,342,198	548,449	23.4	6,089.59	96.0	1.58	384.6	5,713.0
55	2,558,007	670,978	26.2	6,091.92	133.6	2.19	419.9	5,022.3
60	2,725,005	795,570	29.2	6,094.43	162.6	2.67	447.1	4,892.8
平成2年	2,845,382	913,835	32.1	6,093.40	196.1	3.22	467.0	4,660.0
7	2,955,530	1,035,193	35.0	6,093.56	219.4	3.60	485.0	4,719.2
12	2,985,676	1,067,726	35.8	6,095.58	231.5	3.80	489.8	4,612.8

図-2 人口集中地区の人口及び面積指数の推移（昭和35年=100）



### (3) 地域別人口

人口及び人口増加を県内5地域別にみると、全ての地域で増加数及び増加率が前回（平成2～平成7年）を下回っており、県央地域が1,992人（増加率0.4%）、鹿行地域が5,019人（同1.9%）、県南地域が28,459人（同3.0%）それぞれ増加しているが、県北地域△1,328人（同△0.2%）、県西地域△3,996人（同△0.7%）については今回はじめて減少となった。平成7年の増加率に比べて、県北・県央地域は1.3ポイント、鹿行地域は1.4ポイント、県南地域は5.1ポイント、県西地域は3.3ポイント、いずれも減となっており、特に県南地域の減少が大きい。

この結果、総人口に占める割合は、県北地域22.2%、県央地域16.5%、鹿行地域9.2%、県南地域32.7%、県西地域19.3%となった。

また、過去20年の推移をみると、昭和55～60年に県南地域が10%を超える高い人口増加率を示しているのが顕著であり、今回（平成7～12年）も3.0%と県平均（1.0%）の3倍以上の高さとなった。この結果、総人口に占める割合が、32.1%から32.7%へ伸びており、これに対し、鹿行地域はほぼ横這い状態で推移し、一方県北地域、県央地域、県西地域はいずれも低下している（表-5）。

表-5 県、5地域別人口の推移（昭和55年～平成12年）

年次	茨城県				県北地域			
	人口	増加数	増加率(%)	構成比(%)	人口	増加数	増加率(%)	構成比(%)
昭和55年	2,558,007	215,809	9.2	100.0	629,668	25,652	4.2	24.6
60	2,725,005	166,998	6.5	100.0	649,933	20,265	3.2	23.9
平成2年	2,845,382	120,377	4.4	100.0	658,049	8,116	1.2	23.1
7	2,955,530	110,148	3.9	100.0	665,574	7,525	1.1	22.5
12	2,985,676	30,146	1.0	100.0	664,246	△1,328	△0.2	22.2

年次	県央地域				鹿行地域			
	人口	増加数	増加率(%)	構成比(%)	人口	増加数	増加率(%)	構成比(%)
昭和55年	452,871	27,150	6.4	17.7	238,185	10,905	4.8	9.3
60	473,705	20,834	4.6	17.4	251,008	12,823	5.4	9.2
平成2年	483,763	10,058	2.1	17.0	260,664	9,656	3.8	9.2
7	491,896	8,133	1.7	16.6	269,218	8,554	3.3	9.1
12	493,888	1,992	0.4	16.5	274,237	5,019	1.9	9.2

年次	県南地域				県西地域			
	人口	増加数	増加率(%)	構成比(%)	人口	増加数	増加率(%)	構成比(%)
昭和55年	718,536	121,533	20.4	28.1	518,747	30,569	6.3	20.3
60	803,337	84,801	11.8	29.5	547,022	28,275	5.5	20.1
平成2年	877,415	74,078	9.2	30.8	565,491	18,469	3.4	19.9
7	948,702	71,287	8.1	32.1	580,140	14,649	2.6	19.6
12	977,161	28,459	3.0	32.7	576,144	△3,996	△0.7	19.3

#### (4) 市町村別人口

前回より増加した市町村は、9市26町村であり、減少した市町村は11市39町村となっている。

増加率が高いのは、龍ヶ崎市（11.2%）、牛久市（10.4%）、守谷町（9.9%）、神栖町（9.2%）、常北町（8.5%）の順である。特に、全国の市において龍ヶ崎市は全国第11位、牛久市は全国第13位の高率となっている（表-6・7、図-3）。

また、平成7年には上位5位を土浦以南の常磐線沿線及びその周辺市町村（江戸崎町、守谷町、美浦村、龍ヶ崎市、谷和原村）が占めていたが、今回は鹿行地域の神栖町、県央地域の常北町が上位に入っている。これは、増加率の低下が県南地域で大きかった影響である。

また、増加数の多い地域では、つくば市（9,966人）、龍ヶ崎市（7,760人）、牛久市（6,920人）、ひたちなか市（4,923人）、守谷町（4,541人）の順となっており、県南地域が上位を占めている（表-8）。

表-6 人口増加率の高い市(全国)

順位	市町村名	増加率 (%)
		平成7年～12年
1	日進市 (愛知県)	16.4
2	三田市 (兵庫県)	16.1
3	筑紫野市 (福岡県)	13.9
4	草津市 (滋賀県)	13.4
5	京田辺市 (京都府)	12.3
6	西宮市 (兵庫県)	12.2
7	和光市 (埼玉県)	12.1
8	香芝市 (奈良県)	11.9
9	芦屋市 (兵庫県)	11.7
10	八街市 (千葉県)	11.3
11	龍ヶ崎市 (茨城県)	11.2
12	戸田市 (埼玉県)	10.7
13	牛久市 (茨城県)	10.4
14	稲城市 (東京都)	10.2
15	前原市 (福岡県)	10.2

表-7 人口増加率の高い市町村

順位	市町村名	増加率 (%)	
		平成7年～12年	平成2年～7年
1	龍ヶ崎市	11.2	20.8
2	牛久市	10.4	9.3
3	守谷町	9.9	25.8
4	神栖町	9.2	10.2
5	常北町	8.5	9.6
6	つくば市	6.4	8.8
7	金砂郷町	5.8	2.8
8	谷和原村	5.2	19.2
9	美野里町	5.1	9.5
10	東海村	4.9	3.7

表-8 人口増加数の多い市町村

順位	市町村名	増加数 (人)	
		平成7年～12年	平成2年～12年
1	つくば市	9,966	12,616
2	龍ヶ崎市	7,760	11,925
3	牛久市	6,920	5,645
4	ひたちなか市	4,923	4,348
5	守谷町	4,541	9,394
6	神栖町	4,102	4,122
7	土浦市	2,459	4,772
8	鹿嶋市	1,620	1,575
9	友部町	1,606	2,986
9	東海村	1,606	1,170

人口増加率の前回（平成2～7年）と今回（平成7～12年）との相関関係をみると、9市26町村が連続して増加し、9市21町村が増加から減少に転じ、1町が減少から増加に転じ、2市17町村が連続して減少している。また、増加率が前回は上回ったのが4市10町村、下回ったのが16市55町村となっており、さらに、前回は8市町村が10%を超える伸びを示していたが、今回は2市に止まっており、全般的に増加率が鈍化している（第2表、図-4）。

図-4 市町村別人口増加率相関図（平成2～7年，平成7～12年）

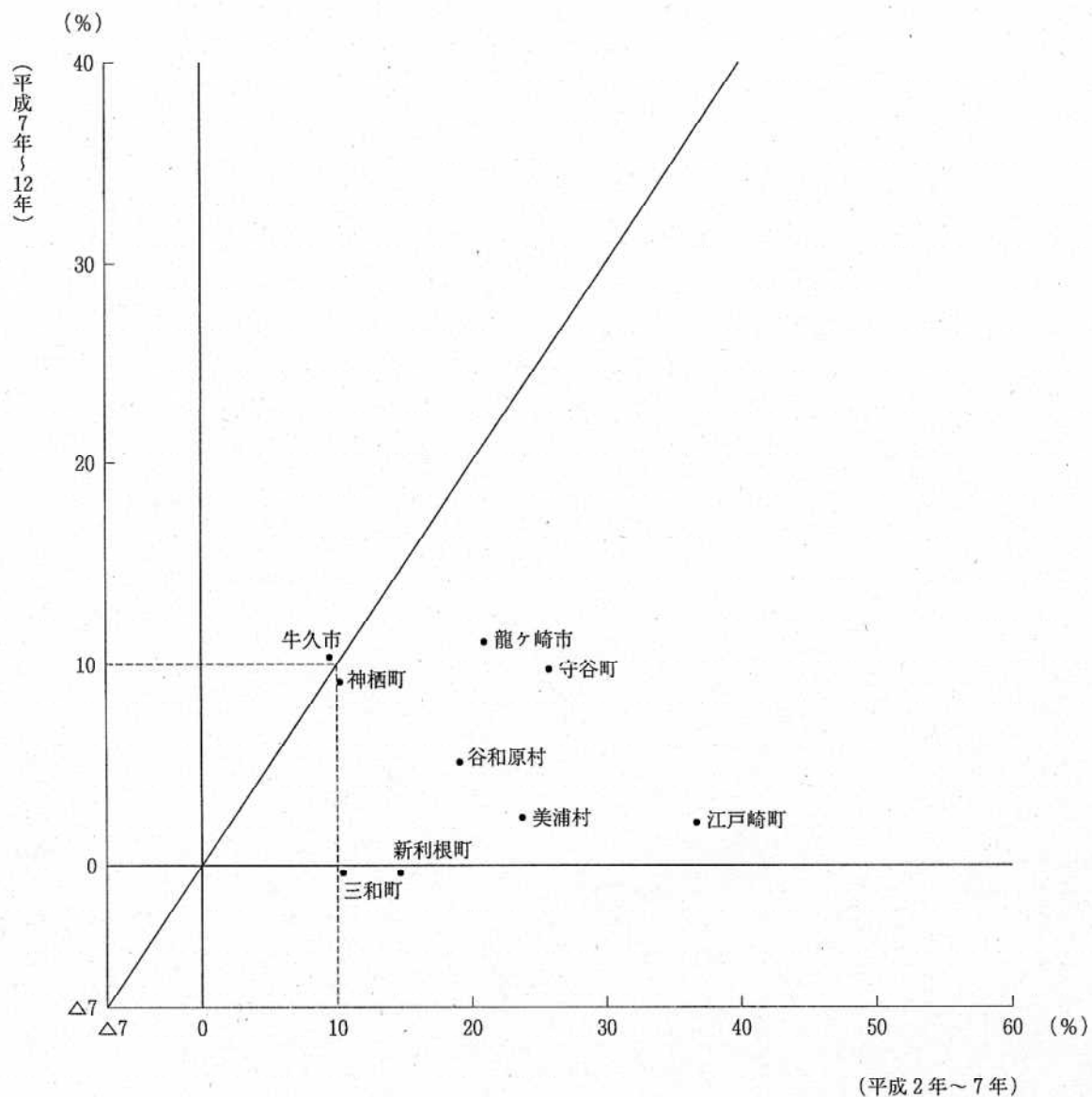
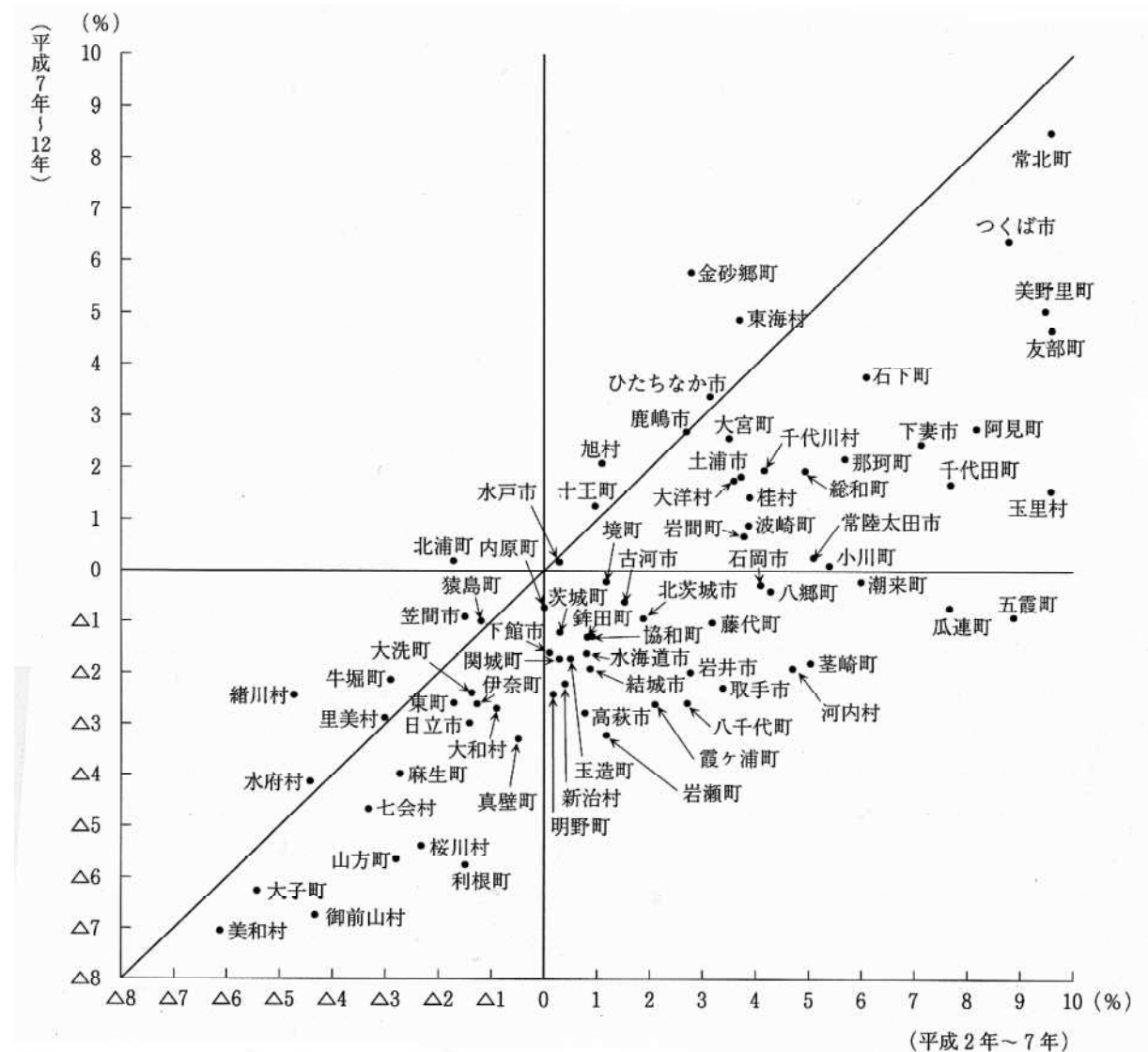


図-4 市町村別人口増加率相関図（拡大図）



次に、市町村の人口規模をみると、20万人以上が水戸市（246,739人）の1市、10万人以上20万人未満が日立市（193,353人）、つくば市（165,978人）、ひたちなか市（151,673人）及び土浦市（134,702人）の4市、5万人以上10万人未満が9市1町（取手市、龍ヶ崎市、牛久市、下館市、鹿嶋市、古河市、結城市、石岡市、北茨城市、守谷町）、3万人以上5万人未満が6市11町村、1万人以上3万人未満が38町村、1万人未満が15町村となっており、4万人を超える町は5町（守谷町、神栖町、総和町、阿見町、那珂町）であった。

また、1km<sup>2</sup>当たりの人口密度は、最も高い古河市（2,796.5人）以下、取手市（2,225.0人）、土浦市（1,646.1人）、ひたちなか市（1,531.6人）、守谷町（1,413.5人）、水戸市（1,402.7人）、日立市（1,260.2人）、牛久市（1,244.0人）、莩崎町（1,055.4人）、藤代町（1,018.1人）の順で1,000.0人を超えており、人口集中地区（31市町村）では、県平均（4,612.8人）に対し、取手市（7,118.8人）、牛久市（6,624.8人）、龍ヶ崎市（6,301.5人）、千代田町（6,182.8人）、古河市（5,998.8人）、藤代町（5,897.0人）、守谷町（5,615.5人）、利根町（5,506.3人）、の8市町村で5,000.0人を超える高さになっている（第2表）。